

汎用スキャンツール普及検討会報告書(概要)

1. 目的

本検討会は、自動車の新技術の利用の拡大に伴い、故障を診断し必要な整備を効率的に行える汎用型のスキャンツール普及に向けた標準仕様の策定や普及促進策等の検討を目的とする。

2. 検討結果

○ 標準仕様

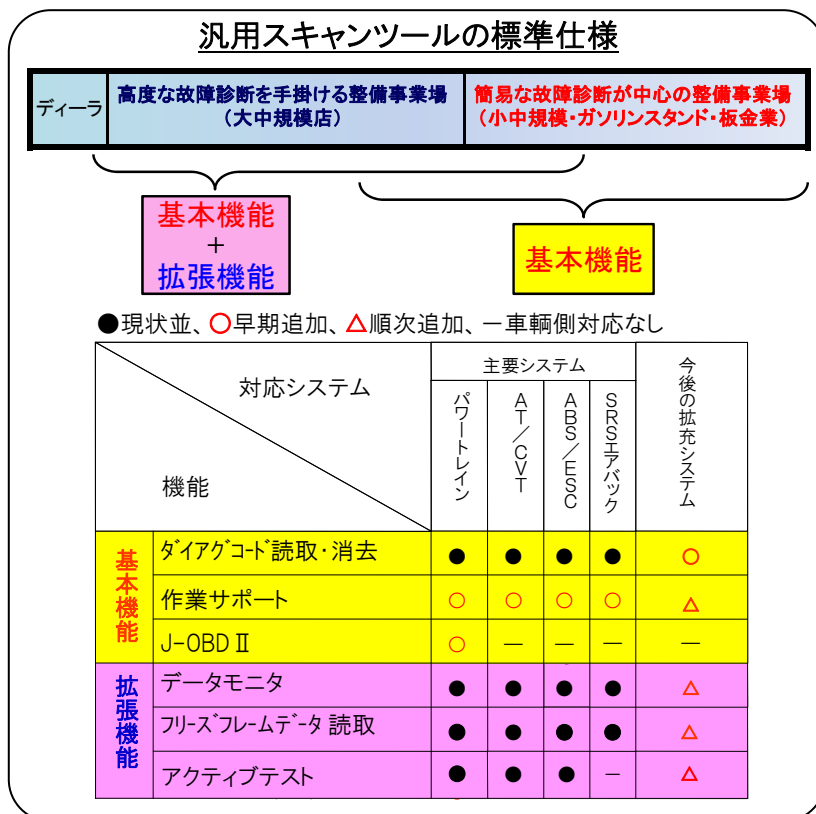
比較的簡易な故障診断を幅広く行える基本機能をベースとし、対象システムの追加やより高度な故障診断が行えるよう、整備事業場の作業内容に合わせた拡張機能の追加ができる拡張性のある機能とする。また、パソコン等外部情報端末への接続や、12/24V電源両方に対応できるものが望まれる。

(1)基本機能

- ・全システムの故障状態を識別するダイアグコードの読取・消去機能を有すること。
- ・主要システム（パワートレイン※1、AT/CVT※2、ABS/ESC※3、SRSエアバック※4）に対応した整備作業を効率的に行える補助機能を有すること。
- ・J-OBD II（排気ガスの故障診断装置）モニタ項目の読取機能を有すること。

(2)拡張機能

- ・主要システムの作動状況をリアルタイムでモニタする機能を有すること。
- ・故障発生時に主要システムの作動状況を読み取る機能を有すること。
- ・主要システムを強制的に作動させ、故障発生箇所を特定するための機能を有すること。



※1：パワートレインとは、一般的には動力および動力伝達駆動系の装置の総称。本報告書では、トランスミッションと区別するため、動力（エンジン・電動機）を示す。
 ※2：AT/CVTとは、変速機（トランスミッション）を指す。ATはオートマチックトランスミッション、CVTは無断変速機（Continuously Variable Transmission）のこと。
 ※3：ABS/ESCとは、ブレーキ制御や横滑り防止機能を示す。ABSはアンチロックブレーキシステム（Antilock Brake System）、ESCはエレクトロニックスタビリティコントロール（Electronic Stability Control）のこと。
 ※4：SRSエアバックとは、補助拘束用エアバックのこと。SRSは補助拘束装置（Supplemental Restraint System）の略称である。

○ 普及促進策

汎用スキャンツールの普及に当たっては、その標準化のみならず、これを活用できる人材の育成や扱う整備事業場がユーザーに容易に分かる仕組み等が必要である。

(1) 人材育成のための研修の拡充・創設

- ・国が行っている整備主任者研修において、汎用スキャンツールの初歩的知識を習得できるようにする。
- ・業界による任意の研修を創設し、汎用スキャンツールを用いた診断・整備技術を習得できるようにする。

(2) 業界による整備事業場への技術認定制度の創設

- ・新技術に対応できる高い技術力や設備を有す整備事業場を認定し、ユーザーの識別・選択を容易にする仕組みを創設する。

3. 今後の課題

本検討会では、汎用型のスキャンツール普及に焦点を当てて検討を行ったが、自動車の新技術の普及に対応した整備事業の基盤強化を図るためには、スキャンツールのみならず、電子装置等の点検整備に必要な情報の提供、新技術に対応した資格制度の活用による人材育成等総合的に対策を進めていくことが重要である。

○ 環境整備

(1) 自動車メーカーからの整備情報の提供

当面、「J-OBD II を活用した点検整備に係る情報の取扱指針」(平成 23 年国土交通省告示第 196 号)に基づき、点検整備情報等の提供が円滑に行われるよう指針を適切に運用することが重要である。

(2) 汎用スキャンツールの普及

① 試作機による試行の実施

本検討会で策定した標準仕様による試作機を製作し、市場で使用するにより、品質面の向上等、標準仕様の改善点等を把握し、その普及を進める。また、その際には諸外国の動向も考慮し検討する必要がある。

② スキャンツールに係る法制度化

今後、自動車の安全・環境性能の実態や汎用スキャンツールの普及状況を踏まえつつ、スキャンツールに係る基準、検査等の法制度化について検討する必要がある。

(3) 大型車(ディーゼル商用車)のスキャンツール活用に向けた課題

現在、乗用車に比べて機能が限定的な大型車のスキャンツールについても、その普及を検討していく必要がある。

- ・技術講習の実施等、技術を習得できる環境整備を整えることが必要である。
- ・スキャンツールに係る情報提供のあり方等や汎用スキャンツールの標準仕様と普及に向けた検討を進めることが必要である。

○ 人材育成

本検討会でまとめられた研修を速やかに実施し人材育成を図ることが必要である。また、今後、新技術に対応した資格制度の活用方策についても早急に検討していく必要がある。